

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	キッセイ薬品工業株式会社					
代表者名	氏名	竹花 泰雄	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市芳野19番48号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	16 化学工業				
主たる事業の概要	医療用医薬品の製造販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	6,276	6,088	6,252	6,383	6,548
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	13,083	12,691	13,099	13,403	13,694
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0	0	0	0	0
自動車の台数	台	24		24	23	22
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	84		78	85	89

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

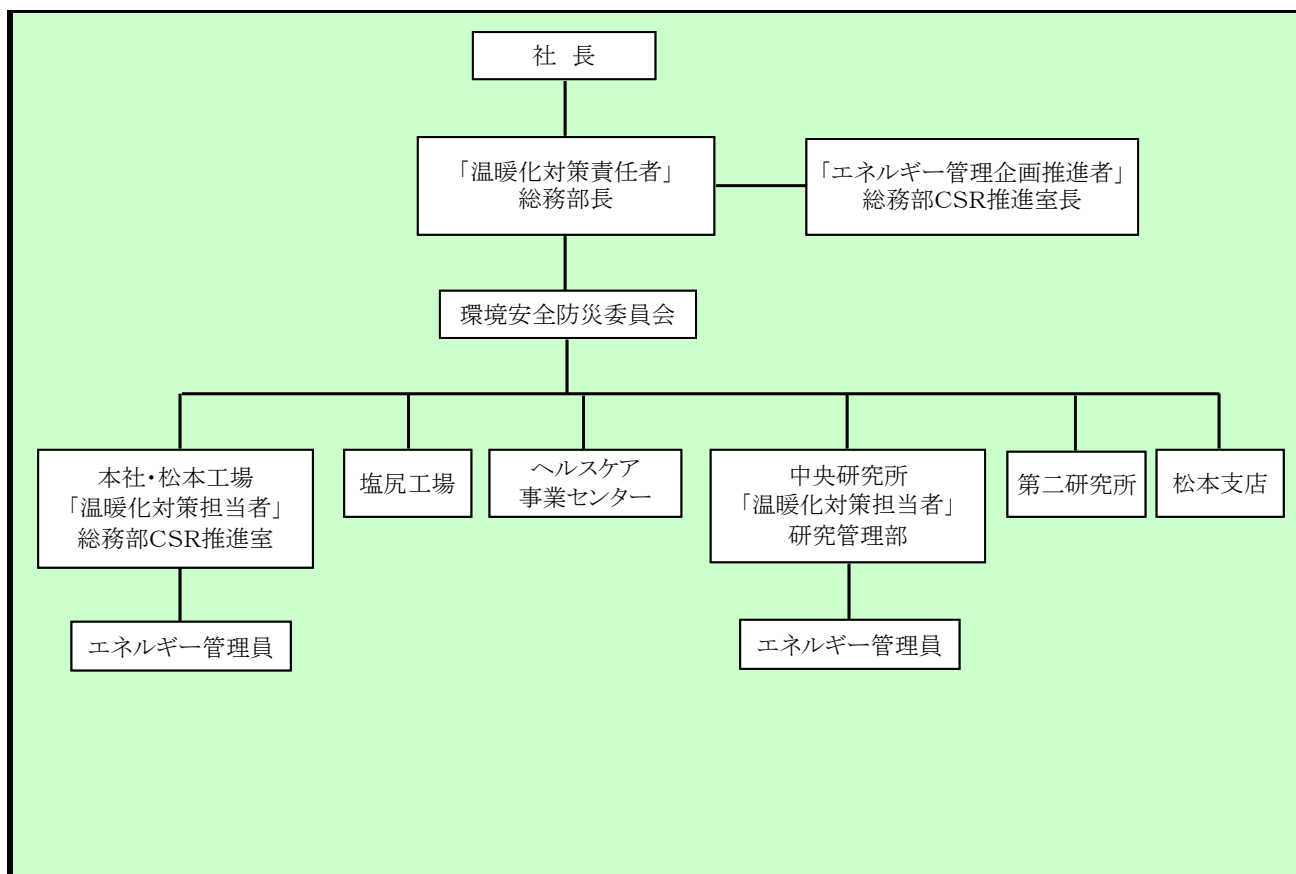
<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：本社 松本市芳野19-48 時間：平日 9時から17時 担当部署及び連絡先：総務部CSR推進室 0263-25-9023
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギー起源による二酸化炭素の排出量を前年度比1%削減する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

事業所環境部会 1回/月
環境安全防災委員会 2回/年

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	13,083	t-CO ₂	生産数量(換算)	3,407.89	単位	ロット
2019年度	調整後排出量	13,083	t-CO ₂	基準原単位	3.84	t-CO ₂ /	ロット
目標年度	目標排出量	12,691	t-CO ₂	目標原単位	3.72	t-CO ₂ /	ロット
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	毎年、エネルギー起源による二酸化炭素排出量を前年度比1%削減し、2022年までの3年間で二酸化炭素排出量を2020年比で約3%削減する。						
第一年度	排出量	13,099	t-CO ₂	生産数量(換算)	3,288.43	単位	ロット
	削減率	-0.13	%	原単位	3.98	t-CO ₂ /	ロット
2020年度	調整後排出量	13,099	t-CO ₂	原単位削減率	-3.65	%	
	削減率	-0.13	%				
排出量等の増減理由	排出量が基準年度より0.13%増加した理由は、ヘルスケア事業センター(No.3)及び第二研究所(No.5)における排出量の増加(各々+20%、+6%)に因る。使用量が増加した主なエネルギーは、電力(No.3)とA重油(No.5)であった。COVID-19拡大予防のため、使用部屋数が増加し、空調の使用が増えた結果、電力使用量が基準年度より増加した。また、消費電力のピーク抑制のため、電気とA重油の配分を見直した結果、A重油の使用量が基準年度より増加した。						
第二年度	排出量	13,403	t-CO ₂	生産数量(換算)	3,398.11	単位	ロット
	削減率	-2.45	%	原単位	3.94	t-CO ₂ /	ロット
2021年度	調整後排出量	13,403	t-CO ₂	原単位削減率	-2.61	%	
	削減率	-2.45	%				
排出量等の増減理由	排出量が基準年度より2.45%増加した理由は、松本工場、中央研究所、第二研究所における排出量の増加が考えられる。松本工場では、生産数量が増加したため、全体的なエネルギー使用量の増加が生じ、排出量が増加した。また、中央研究所では治験薬の製造とそれに伴う空調の24時間稼働が必要となり、エネルギー使用量が増加した結果、排出量が増加した。						
第三年度	排出量	13,694	t-CO ₂	生産数量(換算)	3,522.72	単位	ロット
	削減率	-4.68	t-CO ₂	原単位	3.89	t-CO ₂ /	ロット
2022年度	調整後排出量	11,008	t-CO ₂	原単位削減率	-1.31	%	
	削減率	15.86	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	調整後二酸化炭素排出量は、本社・松本工場と、塩尻工場で、2022年度に信州グリーンでんきの購入を開始したことにより、目標の削減率を大幅に上回った。ただし、生産数量が増加したため、基準排出量自体は増加傾向となっている。なお、原単位は1.31%上昇となり目標原単位には届かなかった。この要因は原単位の分母である生産数量自体は松本工場、塩尻工場で上昇したが、中央研究所で前年に引き続き重油使用量が伸びるなど、全体のエネルギー使用量が増加したことによる。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率	#DIV/0!	%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	84	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	78	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率	7.14	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	85	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率	-1.20	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	89	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率	-5.96	%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310200	ボイラー更新（生物研究棟） （中研）	2021～ 2022	19	2021	20
2	エネ起	310200	ボイラー更新（第二研、2号機）	2022	18.0	2021	18
3	エネ起	310200	トランス入替工事（第二研）	2021	10.6	2021	10.6
4	エネ起	310200	チラー追加工事（松本工場）	2021	2.8	2021	2.8
5	エネ起	310200	ボイラー更新（塩尻工場）	2020	2	2020	2
6	エネ起	310200	工場用トランス更新（塩尻工場）	2020	12	2020	12
7	エネ起	310200	温水熱交換機更新（中研）	2021	30		
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
なし						

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	8,477	2	8,516	2	8,756	2	9,120
1,500k1未満	4	4,606	4	4,583	4	4,647	4	4,574
合計	6	13,083	6	13,099	6	13,403	6	13,694

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	1	7	9	14
合計	1	7	9	14
自動車総数	24	24	23	22
次世代車導入割合	4.2	29.2	39.1	63.6

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	マイカー通勤率99% 本社・松本工場で年2回ノーマイカーウィークを設けてノーマイカー通勤を呼びかけている。
自転車の利用促進	上記マイカー通勤節減運動の中には自転車通勤もマイカーに代わる代替手段として推奨している。
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2019年
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2000年
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

2022年4月1日より、長野県企業局が運営する水力発電所等で作られた100%再生可能エネルギーであり、長野県産CO2フリー電気である「信州Greenでんき」を中部電力ミライズ株式会社より調達し、本社・松本工場、並びに塩尻工場において利用を開始した。同様に、2023年4月より、ヘルスケア事業センター、中央研究所、第二研究所においても「信州Greenでんき」の利用を開始した。
また、2023年6月にTCFD提言への賛同をおこなった。